



板橋稲門会

板橋稲門会会報 第19号
平成29年4月25日
発行 板橋稲門会事務局
〒175-0094
板橋区成増1-18-18藤田方
TEL090-3216-4186 FAX03-3975-4717
<http://www.i-toumonkai.jp/>
<http://www.facebook.com/ita.toumon>

▲板橋稲門の集い(平成28年度総会&創立30周年記念祝賀会)報告▼



稲門の絆、交わす笑顔、賑々しく開催!

板橋稲門会は1986年に創立され今年30周年を迎えたことから、2016年5月15日(日)12時より「2016年度定時総会」に引き続き「創立30周年記念祝賀会」をホテルメトロポリタン「富士の間」にて開催いたしました。参加者は、会員と同伴者で66名、来賓の方など14名の総員80名と大勢の方にご参加いただきました。

【定時総会 12時〜12時15分】

司会は藤田治幹事長。鷹嘴慎吾会長挨拶の後、議事に入り、事業報告と事業計画(藤田幹事長)、会計報告(田上敏明会計幹事)、監査報告(中村恵一郎監査幹事)、予算案(恩田通夫会計幹事)の説明があり、満場一致で可決され総会は滞りなく終了しました。

【30周年記念祝賀会 12時15分〜15時】

司会は田中康智副会長。鷹嘴慎吾会長より30周年を迎えてのご挨拶。設立の経緯、30年の歩み、現在抱えている課題、今後の更なる発展に向けた展開について、力強いご挨拶がありました。

続いては30周年記念特別講演。

「江戸城再建の夢」という演題で、太田道灌公第十八代目子孫の太田資暁講師からプロジェクター映像を見ながら建立した経緯、その後の変遷、天守閣再建の意義などについて、大変興味深いそして有意義な講演をしていただきました。

講演後は、来賓13名の方のご紹介に続き、早稲田



鈴庄一喜氏



北野寧彦氏



下村今日子氏



太田資暁 講師

14時45分 恒例の校歌斉唱は、早稲田大学応援部OBの川岸建太さんの若き溢れた迫力あるリードで盛り上がり、閉会の辞は、前会長の渡邊直幸名誉顧問に絡めていただき、最後に参加者全員80名で記念撮影いたしました。



また、鎌田総長からいただいた祝電の披露があり、続いて30周年記念寄付金目録を鷹嘴会長から早稲田大学鈴庄常任理事に贈呈、23区支部の堀内英男支部長の公発声で乾杯の後、正餐スタイルの食事となり、和やかな懇談、懇親の場となりました。

しばらく歓談いただいた後、田中副会長からプロジェクター映像による歴代会長のご紹介と30年の歩みの映像があり、大いに盛り上がったところで、アトラクション演奏となりました。当会会員の山田壮晃さんが率いるバンド演奏は、皆様がよくご存じの曲目ばかりで、山田壮晃さんのサクソフン演奏で歌われた奥様も魅力的でした。

大学常任理事鈴庄一喜様から来賓祝辞、早稲田大学地域コーディネーター北野寧彦様から来賓挨拶をいただき、また自民党総裁特別補佐 下村博文衆議院議員代理の下村今日子夫人からも祝辞をいただきました。



記念写真

- 【ご来賓】
- 早大・鈴庄一喜常任理事
 - 早大・北野寧彦地域コーディネーター
 - 東京都23区支部・堀内支部長
 - 品川稲門会・塚田成四郎会長
 - 中野稲門会・横沢国夫会長
 - 北稲門会・北雷次会長
 - 豊島稲門会・石川宜司会長
 - 新宿稲門会・小林泰子会長
 - 文京稲門会・清原保会長
 - 千代田稲門会・五島一雄会長
 - 千代田稲門会・小林勝義副会長
 - 千代田稲門会・渡邊敦子幹事長
 - 練馬稲門会・松本誠副会長



記 藤田 治 (44年 理工)



▼板橋稲門会ゴルフ

★第36回ゴルフコンペ

平成28年10月20日(木)武蔵の杜カントリークラブ
優勝・古谷和正氏(50年理工)

直近までは調子が悪く、とても優勝など出来るとは思っていませんでしたが、前半比較的調子よく46で回れ、この調子でいけば優勝が狙えるかと思いつき何とか張り後半も45で回れ優勝できました。

最近では飛距離も落ち、アプローチとパットのスコアメイクの要です。特にパットが決まらないとゴルフ全体が崩れてしまいます。ラインを読み切れるかが勝負の分かれ目になり、当日の朝はパットだけは慎重に練習します。

	グロス	ハンデ	ネット
優勝	91	19	72
準優勝	90	12	78
優位	99	21	78



古谷和正

▼第23回ウォーキング会

平成29年1月7日(土) 新春板橋七福神巡り
一年の多幸を祈り七福神



今年初のイベント、風もなく穏やかな陽光のもと、新春板橋七福神巡りウォーキングに行ってきました。板橋七福神は、熊野神社前に住み彫金と呼ばれていた彫刻師・田中金太郎さんが製作し、昭和12年頃各寺に寄進したものとされています。いずれも、高さ25センチ程度、白木造りの素朴な感じのする福の神です。

毎年1月1日から7日まで、各寺院で開帳されています。12名の参加者は9時半に小竹向原駅前を出発、今は練馬区となっている能満寺の寿老人からお詣りです。4つ目の安養院・弁財天では記念撮影のほか、築山に立つ弘法大師の周りに配された四国八十八ヶ所札所のミニ巡りを楽し



村上 奉文 (41年文)

▼第24回ウォーキング会

平成29年3月25日(土) 大手町〜神明明神
歴史探訪、健康、親睦を堪能

桜はまだまだ三分咲きにもなっていませんでしたが、暖かい日和の中、第24回「ウォーキングの会」に10名が参加しました。

午前10時に大手町のビルの谷間にある「平将門首塚」に集合しました。平将門は武士の先駆けとして、弱氣を助け強きをくじく性格で民衆より厚い信望を受けた人物。下総国で兵を起し坂東八ヶ国を平定したが、天慶の乱で憤死。将門の首級は京都に送られたが、白光を放って東方へ飛び去り武蔵野国芝崎の地に落ちて埋葬されたのが、この「平将門首塚」の地といわれています。



吉田 重雄 (48年政経)



皇居内堀通りに出て、白山通りへ右折してすぐにあるのが「二ツ橋」。徳川吉宗が御三卿の一つ「一橋家」を創設した所。次に「雉子橋」へ。ここに大隈重信の雉子橋邸があった由。明治15年創立の「東京専門学校開設広告」には「東京麹町区飯田町一丁目一番地東京専門学校事務所」と記されているが、それがこの雉子橋邸です。九段下へ向かう右側に千代田区役所があり、そこに「大隈重信候雉子橋邸跡」の石碑があります。

九段下から飯田橋駅に向かう「目白通り」は「飯田橋散歩路(サンポロ)」と言われる道で、今回のメインテーマがいくつもあり、鳥井幹事の解説に参加者全員が「へえ」と驚きと感心の心で聞き入っていました。まずは「東京女子医科大学(東京女醫学校)発祥の地」があります。次は「北辰社牧場跡」です。函館の五稜郭の戦いで負けた

榎本武揚が開いた牧場です。次は、「徽章業発祥の地」の碑です。東京大神宮入口の角に建っています。鈴木梅吉がこの地に日本帝國徽章商會を創ったことで、現在の徽章業の方々の大多数はこの商會の流れをくんでいるといわれています。次は「新徴組屯所跡」です。この武家屋敷を屯所とする浪士組「新徴組」が幕末の警備に当たり、「新徴組」は京の警護のために上洛、京に残った一派が「新選組」となったという歴史を初めて知りました。

次は、「甲武鉄道飯田町駅跡」です。明治22年に新宿〜八王子間に甲武鉄道が開業し、同28年には市街線として延長され、飯田町駅が開業し現在の中央線の始発駅となりました。次が「日本赤十字社跡」です。西南の役のとき佐野常民は傷兵の救護活動のために博愛社を結成、病院を建て、国際赤十字条約に加入し、日本赤十字社と名を改め、大正元年に芝へ移るまでここにありました。

明治15年に明治政府は飯田町5丁目に国学を研究する「皇典講究所」を設け、明治22年にこの講究所内に「日本法律学校」が創設され、23年には神職の養成を行うため「國學院」を開校した。これが日本大学・國學院大學となり、また「皇典講究所」内に東京府尋常中學校(現都立日比谷高校)の補充中學校の名称で創設されたのが、後に東京府立四中・現都立戸山高校となります。その「皇典講究所」跡地に、「國學院大學開校の地」「日本大学開校の地」「東京府立第四中學校発祥の地」の碑が建っています。そして、JR飯田橋駅近くに「東京農業大学開校の地」があります。この「飯田橋散歩路(サンポロ)」は実に中身の濃い散策となりました。

飯田橋駅からは中央線沿いに歩き、「湯島聖堂」に行きました。徳川五代将軍綱吉が儒学の振興を図るため、元禄3年に湯島の地に聖堂を創建して上野忍岡の林家私邸にあつた廟殿と林家の家塾をここに移しました。これが現在の湯島聖堂の始まりです。その後、世に名高い「昌平坂學問所(通称「昌平校」)」を開設。同年わが国最初の博物館(現在の東京国立博物館)が置かれ、翌5年には東京師範学校、7年には東京女子師範学校が設置され、両校はそれぞれ高等師範学校に昇格したのち、現在の筑波大学、お茶の水女子大学へと発展します。このことから湯島聖堂は「近代教育発祥の地」として言われています。

今回のゴールは神明明神です。1300年の歴史ある神明明神は「江戸総鎮守」として徳川将軍様から江戸庶民までの守り神で、今尚、神田・日本橋・秋葉原・大手町・丸の内などの総氏神様として江戸文化を保っています。最後は、鳥井幹事の顔が良く東京ガーデンプレス内の滝が流れるレストラン「オーロラ」の個室で美味しい中華料

理を食べました。鳥井幹事には、立派な資料作成と十分丁寧な説明ガイド役をして頂き、本当にありがとうございました。健康のために歩き、歴史を学び、校友と親睦を図る「ウォーキングの会」にもっと多くの会員の参加を求め、今回の報告といたします。

▼第4回工場見学会・日銀本店▲

平成28年9月2日(金)

震災後、往時の雰囲気を残して再建



水野 光春 (45年 理工)



参加者11名で日本銀行本店の見学を行いました。皆様は日銀本店では銀行らしい業務は行われていない、と思つていませんか？実は、今の日銀本店にも街の銀行のようなカウンターがあります。設立当初と違い、一般市民が対象ではありませんが全国の銀行がお客様なのです。もちろん、お国の金融政策決定機関でもあります。

今回は、日銀本店の各所を案内いただきました。関東大震災で地上の構造物が大被害に遭つたのですが、地下の金庫システム（これが凄い構造なのです）が生き残つたので旧本店の雰囲気を残すのが決められたので、現在も往時の辰野金吾博士の設計を感じることができ、とても事でした。現代人はなんでも新規設計するのが好きかもしれませんが、震災後の建築博士会議がとつた方針（考え方を素晴らしいと思えるのではないのでしょうか？）

見学の後、日本銀行技師による本店の建築の構造と歴史についてスライドによる説明会（質疑応答も盛んだった）があり、当時の建築技術の背景を知ることができました。付け足しを少々。参加者がもつた資料の中に「にちぎん」という季刊誌がありました。日銀の宣伝は殆どなく、自由にテーマを設定して編集されていて、これが面白いのです。興味ある方は以下を開けば既刊号全文がPDFでダウンロードできます。 http://www.boj.or.jp/announcements/koho_nichigin/index.htm/

▼第5回納涼会▲

平成28年8月27日(土) 大山「パドマ」

地元開催、ギター演奏で

大盛況!

みんなが楽しみにしている恒例の納涼会を、地元大山のレストランで開催。若



手会員4名を含め40名を超える参加者となり、大盛況でした。ギター演奏とギター演奏をバックにした楽しい歌声が心に響きました。

▼第5回新年懇親会▲

平成29年1月14日(土) 大山「パドマ」

地元開催で大盛況!

第5回目となる今年の新年懇親会は、地元大山で開催しました。総勢52名と大勢の方にご参加いただき、ご夫妻での参加も6組でした。鷹嘴会長の新年挨拶に続き、下村顧問(自民党幹事長代行)から挨拶をいただき、乾杯の後、会食・懇談に入りました。少し時間をおいて、新入会員・ゲスト参加の校友・学生を紹介し、ご挨拶もいただきました。また今回は、早大が正月の箱根駅伝で3位と健闘したことについての解説を、競走部OBで学生時代には箱根駅伝に出場した松村茂さん(昭48年卒)からお話しいただいたり、校友5名(昭48年卒)で編成するフォークバンド「エバー・グリーン」の演奏を楽しみました。恒例の校歌斉唱は、学生でゲスト参加の元応援部副将・木暮美季さんのリードで、声高らかに歌い、大いに盛り上がった新年会となりました。



最後に、校友会旗の前に全員で記念撮影、今回は萩野副会長からのお土産の差し入れを参加者の皆様にお持ち帰りいただきました。萩野副会長、いつもありがとうございます。

▼平成28年度・囲碁の会▲

高段者の指導で上達を実感

今年度の「囲碁の会」は、会場を板橋稲門サロンの別室にて開催していましたが、6月・8月・11月は休会となりましたので、都合9回開催いたしました。

参加者はフルメンバーで以下8名ですが、全員が揃うことは難しく2~5名が参加しての対局でした。しかし、高段者の市川健さんや山本康夫さんから適時ご指導をいただくなど対局内容は充実しており、参加者はそれぞれ上達していることを実感しています。2017年度も更なる上達を目指してまいります。記：藤田 治



【囲碁の会 参加メンバー】

※()内は卒年

- 山内豊春(22年)、渡辺 寛(35年)、鷹嘴慎吾(37年)、藤田 治(44年)、山本康夫(46年)、斉藤友一(50年)、市川 建(53年)、中妻穠太(H8年)

記：藤田 治

板橋稲門会

2017年度イベント予定

今年度も笑顔の交流を活発に行います。お仲間、ご家族、お誘い合わせてお楽しみください!

板橋稲門の集い(総会・懇親会) 5月24日(水)

ゴルフコンペ 4月6日(木)、10月19日(木)

食べ歩きの会 7月頃、2018年2月

会員懇親会

納涼会: 8月26日(土)

新年会: 2018年1月20日(土)

ウォーキングの会

11月頃、2018年3月31日(土)

: 石神井川お花見

稲門祭・ホームカミングデイ 10月15日(日)

スポーツ観戦 野球: 早慶戦 10月28日(土)

ラグビー: 早明戦 12月3日(日)

地元工場見学会 9月頃

国内旅行 6月9日(金)~11日(日)

: 秋田県黒湯温泉

海外旅行 11月頃(東南アジア)

囲碁の会 原則毎月開催

音楽鑑賞会 2018年2月12日(月・祝)

: 稲吹会ウインターコンサート

東京都23区支部大会 2018年3月18日(日)

板橋稲門サロン 毎月第3土曜日午後

(大山・サンルク)

※日程は変更になる場合があります。ご案内は、メールアドレス登録者には全イベント、郵送希望者には希望イベントをお知らせします。ホームページ、Facebookには案内・報告を掲載しますので、折にふれてご覧ください。

ホームページ <http://www.i-toumonkai.jp/>

フェイスブック <http://www.facebook.com/ita.toumon>

▼海外旅行・ベトナム旅行▲

平成28年11月24日(木)～28日(月)
ベトナムのハノイ・ハロン湾へ旅行

現地稲門会との懇親、
絶景を満喫



高河原 邦彦
(46年 法)

参加者 朝倉久男、安藤真理子、飯田金廣、飯田全子、石原和子、潮鏡太郎、北島寿一、齊藤友一、齊藤孝子、高河原邦彦、鷹鷲慎吾、藤田治、吉田重雄、吉田恵子(五十音順) 14名

前夜から54年振りの積雪が予想され、気を揉んだものので予定通り出発。初日は、ベトナム稲門会の方々との交歓、先方に選んでいただいた美味しいベトナム料理に舌鼓を打ち約2時間、最後に校歌を斉唱し別れを惜しみました。社会の第一線をほぼ退いた高齢者一行のために、仕事で忙しい現役の方々が10名出席してくださり、改めてベトナム稲門会の皆様に感謝したい。

ハノイ市内では、一柱寺、ホーチミンの家、文廟、タンロン城等を見学、最後の日には、マッサージュを体験。ホーチミン廟では、その壮大さに、ベトナム独立・南北統一の指導者としての存在の大きさを改めて認識しました。市内では、少ない信号、消えかかった横断歩道、車の排気ガスをもとめせず、凄まじい数のバイク・スクーター(子連れ女性の3、4人乗りもあり)・車が行き交い、伸びつつある国の若い息吹を感じました。

ハロン湾クルーズでは、観光地・途上国では時折見かける巧妙な売付け(船賃に入っているのかと勘違いさせられる、飲み物のさりげない押付け)や熱心な土産物の売り込みに、遇いましたが、久し振りの快晴の下、次々と現れる奇岩の絶景に満足しました。また観覧車やロープウェイが設置され、海外からの多数の観光客の来訪を期待しているようでした。

その他、ベトナム通貨のゼロの数の多さ(一万円が約二百万ドン)に辟易、大型バスを、センチ単位で幅寄せする運転手の器用さに感心、ベトナム風フランス料理の美しさ・美味さに驚嘆、日本語ガイドのコミュニケーションに今一つ難もありましたが、この旅を通じて、参加会員間の絆が深まった感あり、来年3回目の旅行では、会員内外含め、参加者がさらに増えることを期待したい。



▼第15回食へ歩きの会▲

平成28年7月9日(土) 山海料理と地酒「飯綱」あつという間の2時間、快食!

志村坂上の「飯綱」にて開催。料理も酒もうまいし、話しは楽しいし、笑いの絶えない2時間があつという間でした。担当の菅原さんが、いつも企画・手配・お世話くださるお陰です。ありがとうございました!



▼第16回食へ歩きの会▲

平成29年2月26日(日) 海鮮お食事処「成光苑」美味満腹&熱唱三昧

会場は舞台付きの広い宴会場、タラバガニ、大きな海老、フグの天ぷら、刺身、海鮮鍋、茶わん蒸し等、沢山の料理を目の前に、新入会員の自己紹介、そして会員各自の挨拶からカラオケへと大いに盛り上がりました。

締めは、応援部OB・清水さんのリードに



菅原 光明
(45年 社)



より、揃って早稲田大学校歌を斉唱し、閉会となりました。参加者24名(女性7名)。

▼ラグビー早明戦観戦▲

平成28年12月4日(日) 秩父宮ラグビー場

毎年恒例のラグビー早明戦の応援に出かけた。天候に恵まれ、ラグビー観戦日和である。今年は山下大吾新監督になり、ユニフォームも一新され期待が高まる。

試合は、まず明治にトライを許してしまっただがその後追い付くことができ、前半は10対10の同点で終了した。後半も点を取られては取り返す一進一退の展開であった。圧巻だったのは、後半34分、早稲田が明治からスクラムで認定トライを奪ったのだ。今まではバックスタの早稲田、フォワードの明治と言われていたが、今年は違った。試合終了間際は明治にボールを奪われ、気迫のこもった展開が続く。最後は明治の反則でノーサイド。24対22で接戦を制することができた。

両校とも一歩も譲らず、さすが早明戦という試合を堪能することができた。ありがとう!早稲田大学ラグビー部!!2018年は創部100周年とのこと、ぜひ、優勝に向けて来シーズンは頑張ってください。



山上 郁雄
(59年 理工)

稲門祭・ホームカミングデー

平成26年10月19日(日)

早稲田大学キャンパスほか

校友会最大のイベント、大盛況!



「稲門祭」は校友による校友のための最大の祭典で、卒業年に関係なくどなたでも参加できるイベントです。著名校友による企画や、稲門音楽祭、模擬店など、楽しい企画が盛りだくさん。毎年早稲田大学が主催する「ホームカミングデー」と同日に開催しています。フィナーレは大講堂前で校歌の大合唱です。

また、稲門祭のためにデザインされた期間：数量限定の記念品も大好評!この売り上げを含む稲門祭の収益は、全額が「稲門祭奨学金」となり、在学生を経済的に支援します。

板橋稲門会も運営に協力しています。今年は10月15日(日)、ぜひご参加を!
記・編集部

東京都23区支部大会

平成29年3月5日(日)

リーガロイヤルホテル東京

早稲田魂いっぱい
の講演と懇親を満喫



2016年度23区支部大会に出席して来ました。今年の支部長区は足立区です。第一部は大隈講堂で「講演会」が開催されました。講師は早稲田大学ラグビー部の山下大悟監督です。人気のラグビー部監督の講演会ということで、当初予定していた小講堂では収容できず、急ぎよ大講堂での開催となったとのこと。最近の大学ラグビーではなかなか勝てない状況の中で、どのように取り組まれているかについて熱く語られていました。また帝京や東海との差についても興味深く聞くことができました。2018年には創部100周年を迎えるそうです。これからの早稲田大学ラグビー部の活躍が期待できる講演会でした。

第二部はリーガロイヤルホテル東京での「懇親会」です。華やかな中で盛大に開催されました。アトラクションは、早稲田大学応援部OB・OGによる応援演技です。一連の応援歌が披露されました。最後はもちろん「早稲田の栄光」を皆さんで肩を組んで歌いました。あつという間の2時間でした。

300人以上が集まった支部大会です。校友会においても大勢力となっているそうなので、これからも益々、早稲田大学を盛り上げていかなければいけないと心を新たにしました。記・山上 郁雄(59年 理工)

編集後記

28年度は、創立30周年記念祝賀会が最大の行事、ご苦労くださった先輩方への敬意と感謝を表します。これからも会員の皆さまに喜んでいただけるよう頑張っていきますので、ご支援、ご協力をお願いいたします。板橋稲門会 役員・事務局一同